

道立病院における平成29年度上半期の医療事故等の発生状況について

道立病院局

道立病院では、病院運営の透明性を高め、道民の医療に対する信頼を深めるとともに、職員の意識を高め、医療における安全管理体制の向上を図ることを目的として、平成18年3月に「道立病院における医療事故等の公表基準」を定め、年2回、半期毎に発生状況を公表しており、今回、平成29年度上半期の状況を取りまとめた。

1 インシデントの発生状況について

(1) インシデントの定義

日常診療の現場において、患者に被害が発生することはなかったが、“ヒヤリ”としたり、“ハツ”とした事例をいう。

(2) インシデントの区分及び発生状況

区 分		平成29年度 上半期
1	前もって気づいた事例（薬の取り違いなど）	613件（40.5%）
2	検査や処置を要しなかった事例（転倒など）	899件（59.5%）
合 計		1,512件（100.0%）

(3) 過去3年間の推移

	平成29年度	平成28年度	平成27年度
上半期実績	1,512件	1,457件	1,455件
下半期実績	-	1,423件	1,340件
年間実績	-	2,880件	2,795件

2 医療事故の発生状況について

(1) 医療事故の定義

疾病そのものではなく、医療に関わる場所で、医療の全過程において発生する人身事故一切で、医療行為や管理上の過失の有無を問わない。

(2) 医療事故の区分及び発生状況

区 分		平成29年度 上半期	主 な 事 例
小 ↑ 患者への影響 ↓ 大	1 確認のための検査や簡単な処置・治療を要した事例	119件 (96.0%)	○患者が病室内でつまづき転倒。両肘に打撲及び膝に擦り傷を受傷。 ○患者がトイレでふらつき、棚に顔面をぶつけ、頬に切り傷を受傷。
	2 処置や治療を要した事例	4件 (3.2%)	○患者が病棟内を走り、転倒してまぶたを裂傷したため、縫合した。 ○患者が病室内の壁を蹴り右足の小指を骨折したためギプス固定した。
	3 <u>濃厚な処置や治療を要した事例</u>	0件 (0%)	—
	4 永続的な障害や後遺症が残った事例	0件 (0%)	—
	5 死亡した事例	1件 (0.8%)	※本件事故は、御遺族の同意が得られなかったため、内容公表は行わない。
合 計		124件	—

(3) 過去3年間の推移

区 分	平成29年度	平成28年度	平成27年度
上半期実績	124件	120件	156件
下半期実績	—	125件	147件
年間実績	—	245件	303件

(4) 公表区分別内訳

区分	対 象 事 例	件数	公表時期	公 表 方 法
一括公表	事故区分1の事例及び事故区分2～4のうち医療過誤が認められない事例	122件	半 期 毎	・件数のみ公表する。
概要公表	事故区分2、3のうち医療過誤が認められる事例	1件	半 期 毎	・事例ごとに概要を公表する。
個別公表	事故区分4のうち医療過誤が認められる事例及び事故区分5の事例	1件	原則随時	・患者及び家族の同意を得て公表する。

※ 医療過誤とは、医療事故のうち、医療の遂行過程において、医療従事者の故意又は過失により、患者に被害が発生し、かつ、故意又は過失と被害との間に因果関係が認められるもの。

(5) 概要公表

区 分		事 例		原 因	改善・対応策
2	処置や治療を要した事例	事例 1	他院からの紹介により入院された患者に対し、入院前から服用していた血糖降下薬の処方が行われず、高血糖による意識障害が生じたが、その後、治療により回復し退院した。	入院時に他院で処方された薬を確認するルールの徹底が不十分であった。	他院での処方内容を必ずカルテや看護記録に記載するとともに現在の処方内容と照合するよう、職員に周知徹底した。

3 今後の対応について

北海道病院事業経営推進会議や医療安全推進担当者会議において、医療事故等の発生状況や個別事案の概要などの情報を共有し、各病院に設置している医療安全対策委員会等を通じて、病院職員各々の注意喚起を図るとともに、外部講師による研修会の開催や院外で開催される医療安全研修会へ職員を派遣するなど、引き続き医療事故等の発生防止に取り組む。